

社団法人私立大学情報教育協会  
平成20年度第4回英語学教育FD/IT活用研究委員会議事概要

I. 日時:平成20年10月10日(土)午後5時～午後8時

II. 私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 出席者: 山本涼一委員長、田中宏明副委員長、北出 亮委員、小林悦雄委員  
井端事務局長、森下、恩田

III. 検討事項

1. 英語学士力(案)について、インターネットによる私立大学英語教員のコメントに基づき、再検討を行い、最終案を作成する。

資料:1. 委員会次第

2. 第3回議事録

3. 委員会出席表

4. 英語学士力(案)

5. 英語学士力(案)についての全国私立大学の英語教員からのコメント

6. 委員住所録

7. その他、参考資料

IV. 議事内容

1. 英語学士力(案)について、インターネットによる私立大学英語教員のコメントを検討し、「英語学教育における学士力について」の案を再検討した。

主な意見

学士の表現がおかしい。誤解を生んでいる。

大学教育として提供すべき学部共通の基礎的知識技能のことであることを念頭に置く。

案は、英語力を超えた範囲にまで言及しているので、英語力だけに言及することが必要。

例えば、交渉力は、英語力だけの問題ではない。

卒業条件とするのか、それとも各大学が目標とするものであるのか。

「できる」という表現にすべきである。

学士として卒業保証の一部として扱われるべきである。

2. 最終案の作成

報告、議論に基づき、次の最終案を作成した。

英語学士力(最終案)

1. 身近な事柄について簡単な会話ができ、比較的短い文章を読み書きできる。
2. 日常生活の話題や関心事について聞き話し、まとまりのある文章を読み書きできる。
3. 必要な情報や説明を的確に把握し、要点を伝達して理解を得ることができる。

### 3. (参考) 旧案

#### 英語学士力(案)

英語学士力とは、自律的学習を通じて自らの英語の知識・技能・学習態度及び統合的な課題解決能力を育成し、社会の要請に応えられる学習成果を生み出せる力として位置づけることができる。

英語を通じて育成する「英語学士力」に関する指針:

##### (1) 聞く力

英語のラジオやテレビ、また自ら外国人との対話を聞いて、その概要を正確に理解して批評することができ、専門分野の英語をほぼ聞き取り理解することができる力を育成する。

##### (2) 話す力

日常生活での対話、ディスカッションやディベートなどで意見や考えを正確に伝達して質問に的確に答え、英語を通じてほぼ自由に相手と交渉できる力を育成する。

##### (3) 読む力

英語の新聞や雑誌などを読んで、その目的と概要をほぼ正確に把握するとともに自分の意見を批判的に纏めることができ、専門書など専門分野の英語を熟読して要約することもできる力を育成する。

##### (4) 書く力

英語表現力とコミュニケーション能力を使い、伝達すべき内容を整理して自分の考えを文書で的確に表現し、相手と交渉することができる力を育成する。

##### (5) 4つの力を活用して問題解決する力

英語を活用して情報の検索・収集・分析と推敲を行って問題を解決することができ、協働作業などで役割を分担して責任を果たすことにより新しい価値を生み出すことができる力を育成する。

##### (6) 異文化を理解する力

自文化を伝達し他文化を理解して互いの違いを理解しながら問題の解決に挑み、互いが豊かで繁栄しながら支えあうことができる力を育成する。

### 4. 次回の委員会

日程を調整し、年度内に次年度の計画、スケジュールを検討する